

日本エコレザー対談⑤⑤



左から吉村氏、森脇氏、稲次氏

森脇 繁行氏

(一社)日本タンナーズ協会会長/
(株)モリヨシ代表取締役社長

吉村 圭司氏

NPO法人日本皮革技術協会 副理事長

稲次 俊敬氏

NPO法人日本皮革技術協会 副理事長

小ロットでも利益が出る仕組みを作り、
まずは東南アジアに進出する

しっとりした手触りの
「オリーブレザー」

吉村 明けましておめでとうございます。本年もエコレザー座談会をご愛読ください。

2022年の第1回目は(一社)日本タンナーズ協会会長であり、(株)モリヨシの代表取締役社長の森脇繁行様にご登場いただきました。(株)モリヨシのあるたつの市は兵庫県の西に位置し、牛革の約50%を生産する国内最大の皮革の産地です。

といつても、どの辺にあるのか分からないという読者もあるうかと思えます。ここ、たつの市はそうめんの「搦保乃糸」が有名ですね？

森脇 そうなんです。ここには皮革、醤油、そうめんの三大産業があります。

以前は自治体が醤油とそうめんしか宣伝しなかった。それで皮革もきちんと宣伝してくれと申し入れて、三大産産に仲間入りしました。当時の売上げは、皮革のほうが、よほど多かったですよ。日本は北米から原皮を月に1200万枚くらい買って買っていましたからね。

吉村 1970年代ですね。

稲次 衣料革が盛んな時ですね。

森脇 そうですね。

吉村 ところで、モリヨシさんは「オリーブレザー」が有名です。いいネーミングです。

森脇 40年ほど前から、取引のある香川県の製品メーカーさんから「オリーブを使った商品を共同開発できないか」と言われたのがきっかけです。

やってみるとオリーブは分子が大きいからか、なかなか革の繊維に入っていない。ドラムに入れたり、仕上げの時に吹きつけてみたり、試行錯誤がありました。

吉村 どんな特色がありますか。

森脇 オリーブの香りはしません



森脇氏

が、しっとりした手触りがあります。顔料はあまり使っていません。お蔭さまで好評で、もう20年以上継続している定番商品です。最近でこそ、タンナーも自社の革に名前を付けるようになりましたが、当時はネーミングとかはない時代でした。

吉村 貴社の革の用途としては何用が主になりますか？

森脇 当社はハンドバッグと家具用です。家具用が売上げの35〜40%ぐらい。

家具用は革の品質基準が非常に厳しく、革に少しでもキズがあると商品にならないんです。総革のソファですと牛革を100枚使っても7脚ぐらいしか作れない。一番大変なのは色合わせです。この技術には自信があります。

吉村 ハンドバッグ用はいかがですか？

森脇 家具ほどの違いには厳しくないけれど、トレンドを追っていないといけない。やっぱりそれぞれの用途で一長一短がありますよ。



メーカーと組み 消費者に売る「日本革市」

吉村 ハンドバッグは革製の需要が落ちています。

森脇 落ちていますね。協会で実施したアンケート調査を見ると、革製は重いと、最近ではアニマルフリーとか言われます。大変ですよ。

稲次 百貨店の中で毎年、「日本革市」というイベントをやっておりますね。

森脇 あれはタンナーと製品メーカーが一緒になって、直接消費者に販売するイベントです。

日本製の革「ジャパニレザープライド」で作った革製品ばかりです。

毎年全国10カ所の百貨店で実施しています。現在も開催していますが、大変好評ですよ。

稲次 私もあちこちの百貨店で拝見しています。イベントとしてはいいと思うのですが、販売が中心で革のPRが少ないのももったいない。

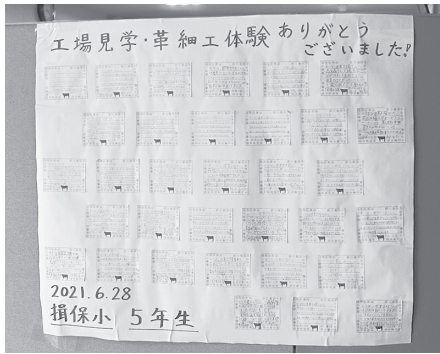
実際に革を触ってもらって、日本の革はこんなに素晴らしいと知ってもらえれば、なお有意義だと思うのですがいかがでしょうか。本来の目的は日本の革の良さをアピールすることですよ？

森脇 そうですね。良いヒントをいただきました。

吉村 話は変わりますが、貴社の事務所に入ってくるときに気が付いたのですが、入口のカウンターに、葉書のようなものがいっぱい貼ってありましたが、あれは何でしょうか？

森脇 たつの市の小学校の生徒が書いた工場見学のお礼状です。(38ページ左上写真)

私がPTAの会長していたこ



工場見学のお礼状がいっぱい



吉村氏

ろ、校長先生から一度、生徒に皮革の製造工場を見せてやってくれというところから始まりました。最初は地元の損保小学校だけでした。いまではタンナー3社が持ち回りで当番になり、たつの市内の小学校がみんな見学に来るようになりました。そのほか、端切れ革を学校に持ち込み、革の説明をしながら、革小物の作り方を教えに行ったりしています。

皮産連(ひさんれん)（社）日本皮革産業連合会でも子供対象のプロジェクトをやっていますね。

吉村 キッズレザープロジェクトですね。

森脇 われわれも同じようなことやっているわけです。兵庫県をモデルにして、国としてこういう催しをやっていければ、革に対する理解も深まります。

稲次 いいですね。子供が革に触って何かを作ったりする体験はほとんどないですから。

吉村 皮産連のキッズプログラムも少しずつ受け皿が広がっています

すが、これからさらに広がっていきたいと考えています。

森脇 小学校とそういうつながりがあるので、本当はランドセルの革を我々でやりたいんです。

いまは人工皮革がかなり普及しましたね。メーカーと組もうとしたこともありましたが、抜き型でつまずいた。人工皮革なら10枚重ねてどーんと抜けるのに、革は1枚ずつ傷をチエックしながら裁断しないといけないから効率が悪いと敬遠される。

稲次 人工皮革のランドセルも上質なものができて、価格も相応に上がってきています。

森脇 革製と同じくらいになっているでしょう。

稲次 価格が同じくらいになると、お孫さんのスポンサーであるおじいちゃんやおばあちゃんにとって、本革で安全・安心なものがあると勧めれば、そっちにしようか、となりますよ。

森脇 まさしく、親御さんにアン

ケート調査をしてみると、合皮のほうがいい、という回答は2割くらいしかないんですよ。

革に「安全・安心」の付加価値を付けたい

稲次 革に付加価値を付けましょう。日本エコレザー基準認定取得革であれば、安心・安全の革の証になります。

タンナーズ協会でも「ジャパネザープライド」という革のブランドイングをやっていますが、国産革というだけで、もう一つ何が外国製と比べて良いのかが伝わっていないのではないですか？

吉村 いま皮産連では、SDGsに、環境、社会的責任を加味した企業認証システムの立ち上げを行っているところなんです。今春にはもう発表することになりますが、これをタンナーズ協会の「ジャパネザープライド」とくっつけたらどうですか。新制度の認証取得時に「ジャパネザープライド」でも認定を取ってもらおう。ラベルは両方付けたい。付加価値がより高くなります。



稲次氏

稲次 だったら、「ジャパンレザープライド」は、原皮から日本でやっている革を対象にしないと価値が上がらないと思います。

吉村 いずれにしても、ランク付けをして、誰でも取り組むことはできるけれど、努力している企業はランクが上がるなどして価値を高めたいと思っています。

稲次 兵庫県豊岡市の靴組合が行っている「豊岡靴」の認定制度が参考になりますよ。

彼らは自分たちで、「豊岡靴」のタグを付けて良いか厳しく審査しています。一定のレベル以上の製品にしか「豊岡靴」の標記を認めないのです。基準に適合しなかったものは、その問題点を指摘し、改善のためのサポートを積極的に認定取得に繋がっています。

森脇 今治のタオルも同様ですね。品質が下がるとブランドの信用を失うからです。

稲次 「ジャパンレザープライド」を国産の革に限定するのなら、ウエットブルーやクラスト革ではな



く下地から日本製だということにしないとイケないと思います。

森脇 いま、仮にエコレザーの認定を取るとしたら、国産皮革全体でどのくらい合格するのでしょうか？

稲次 日本エコレザー基準に適合するものは全体の60%ぐらいでしょうか。これはかなりの比率です。不適合要因としては多くの場合、染色摩擦堅牢さ(色落ち)か遊離ホルマリンが、クロム革ですと溶出総クロムが課題となる傾向があります。

何も検査しないで海外に出した時にホルマリンなんかが出たなら、一度に信用を無くしてしま

うのではないですか。必要最小限の健康診断をしておかないと、安心して海外に持っていきません。この際、自社の実力を知っておくことも大事だと思います。

若手の後継者たちが工夫して販路を拡大

森脇 でも、認定取得するためには提出書類や資料が多くて大変でしょう。

稲次 一回目は大変なんですけど、あとはパソコンに入れたデータを適宜効率よく活用すれば大丈夫です。

森脇 クロムなめしはダメとか言いますね。

吉村 それは全くの誤解です。日本エコレザー基準にクロム革がダメだとかということは全くありません。タンナーズ協会は組合員さん向けに正しい情報をアナウンスしてもらわないといけませんね。

森脇 今度、理事会があるんで、一度説明に来てもらえますか？

【団体概要】

団体名：(一社)日本タンナーズ協会
 時代に即応しつつ、消費者に喜ばれる革づくりを
 目指す日本唯一の製革業者による全国団体。
 設立：1979年8月
 代表者：森脇繁行(会長) 会員数：329
 事業内容：皮革の生産・貿易・流通など。全国の消費者に日本の
 なめし革と革製品の魅力を訴求するために、全国の
 主要百貨店と連携したイベント「日本革市」を年に
 8～10回開催。
 本部：兵庫県姫路市豊沢町129 あさひビル3F
 TEL079-282-6701
<http://www.tcj.jibasan.or.jp/>

【会社概要】

社名：(株)モリヨシ
 創業：1957年
 代表：森脇繁行
 従業員数：20名
 事業内容：皮革の製造・販売ほか
 所在地：兵庫県たつの市揖保町栄125
 TEL(0791)67-0243
 Eメール：mrys@za2.so-net.ne.jp



稲次 もちろん、喜んで伺います。もう12年前になりますが、日本エコレザー基準認定制度がスタートしたときに姫路市やたつの市の各組合で説明会を開催しました。

森脇 そういえば、そういうこともありましたね。

稲次 しかし、説明会をやったそれつきり。もうあれから12年も経っています。タンナーズ協会の理事会の議題を見ても、エコレザーの「工」の字もないのですから、非常に残念です。

森脇 頭に入れておきます。

我々も少子化が進んで、革製品の購買力がないし、売るところが無くなっている。やっぱり海外に出ないとダメですね。いきなりヨーロッパというのはちょっと無理だ

から、ターゲットは東南アジアです。台湾のデパートに出店した知り合いのメーカーが言っていました。東南アジアの富裕層は日本の富裕層よりずっと多いようです。タンナーにとつて一番の問題は多品種小ロットです。それがコストアップになっている。薬品の価格も上がっているしね。しかし、小ロットからは逃げられない。それでどうやって利益が出るような体制を作るかでしょうね。

しかし、あとを継ぐ3代目、4代目の若い人たちが、いま工夫をして、自分で革や製品を作っているという動きが出てきました。オリジナルリテイヤーを高め、クラウドファンディングで広げていたりしている。希望はありますよ。

吉村 しっかり前を向いていきましょつ。

森脇 きょうは日本皮革技術協会が支援している日本エコレザーの普及の話が聞けました。これは一つの大きな収穫でした。

吉村 本日は色々な課題について

話し合えてよかったです。

森脇 そうですね。

稲次 最初に話に出たオリブレザーですね、これを日本エコレザーの認定を取得されてはどうでしょうか。

森脇 そうしましょつ。

稲次 まずこれをやりましょつ。お手伝いしますよ。

日本エコレザー、6つの条件

- ①天然皮革である
- ②発がん性染料を使用していない
- ③有害化学物質の検査をしている
(ホルムアルデヒド、重金属、PCR、禁止アゾ染料)
- ④臭気が基準値を満たしている
- ⑤適切に管理された工場で作られた革
(排水、廃棄物が適正に管理された工場で製造)
- ⑥染色摩擦堅ろう度が基準値以上



※これまでの「日本エコレザー対談・座談会」は、www.japan-ecoleather.jpの「トップページ」の《対談・座談会》の項でご覧いただけます。